

令和5年度学校だより

草庵先生に学ぶ宿南小学校

# しゅくなみ



No.16

令和5年12月1日

## 《 自分で みんなで カー杯がんばった学習発表会 》

11月20日、学習発表会を実施しました。1・2年生は1年生の国語で学習した「おおきなかぶ」を劇にして発表しました。劇中に歌や合奏を交えて元気よく楽しく表現しました。3・4年生は「2学期の学び、感動したこと」と題して、里山や飛行機体験など2学期の学習を通して感動したことを歌やダンスを織り交ぜて発表しました。5・6年生は、生野義孝を中心とした、幕末の草庵先生の生き方や考え方を「どうする 草庵先生！」と題して劇仕立てで発表しました。どの学年も、はっきりと大きな声で、自信を持って発表できていたと思います。こども園のダンスは、フラフープを使った可愛くりズミカルな踊りで、みんなが自然に手拍子を打って応援していました。



5・6年生の合奏「威風堂々」は少ない人数でしたがリズムや速さを合わせて素晴らしい合奏を披露しました。全校合唱は「草庵先生の歌」「パフ（英語バージョン）」「ビリーブ」の3曲を披露しました。パフは、日本語の歌の次は英語と合奏で変化をつけました。今年は、コロナ対策にプラスしてインフルエンザ予防対策を講じ、限られた時間の中での練習となりましたが、心を一つに合わせ、人数の少なさを感じさせないボリュームのある美しい歌声を体育館に響かせました。和楽器クラブの三味線演奏、6年生親子の楽しいダンスや大縄跳びが披露され、中身の濃い、充実した発表会になりました。地域の文化祭も4年ぶりに開催され、舞台発表や展示も見応えがありました。農林物産展も盛況でした。体調不良者への対応として、児童は午後から下校させましたが、保護者やご家族の皆様をはじめ、地域の皆様にも多数ご参加いただくことができました。ありがとうございました。感謝申し上げます。



1・2年



3・4年



全校合唱 草庵先生の歌



5・6年



5・6年合奏



全校合唱 パフ ビリーブ



和楽器クラブ



6年親子

### ＜来場者アンケートから＞ 励みになります。ありがとうございます！

- ・それぞれの学年で、ここ半年頑張って学んだことをいろいろな方法で発表されていたように思います。
- ・体調不良のお子さんがいらっしゃって残念でした。そんな中でも真剣に一生懸命取り組まれている様子が伝わりました。
- ・高学年は係の仕事をこなしながら大忙しでしたが、練習してきたことを本番でもしっかり発表していてとても素晴らしかったです。
- ・元気よく、はきはきと声を出しているのがよかったです。学んだことを将来に向けて活かしてもらえることを期待しています。学習内容がこれからの人生にとっても大切なことだと感じました。
- ・初めて「草庵先生」の歌を聴き、長い歌詞を覚えてすごいなあと思いました。
- ・入学してまだまだ小さいと思っていた我が子が、全校生と歌っているのを見て、大きくなったと再度思い、成長の嬉しさに涙しました。いろいろな行事を通して気持ちも心ももっと成長できたらと思っています。
- ・それぞれ各学年に合った発表だったと思います。楽しい発表、勉強になった発表、全校合唱、とてもよかったです。作品は上手にできており、新聞なども分かりやすく、素晴らしい発表会でした。

### 《 貴重な体験をさせていただきました クラブ活動 》

11月17日、今年度最後のクラブ活動を実施しました。全7回が終了しました。今年度は、高学年の人数が少ないため、2つのクラブで地域の方にお世話になりました。

和楽器クラブは、体育館のステージを使って学習発表会で披露する曲のリハーサルを行いました。

家庭科クラブは、学習発表会で展示するお花の寄せ植えをしました。

指導ボランティアの皆様には、限られた時間の中で工夫してご指導いただき、本当にありがとうございました。今後も、地域の皆様にも力を借りて、子どもたちに多様な体験や学びをさせたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



### 《 たじま荘訪問 》

30日に、日高町十戸の特別養護老人ホームたじま荘を訪問して、入所者の皆さんとの交流に行ってきました。同ホームが、もとは旧宿南村朝倉にあったというご縁で、長く続いている交流です。コロナ禍のため、3年間クリスマスカードのプレゼントに代えさせていただきました。児童の訪問を見合わせていましたので、4年ぶりとなりました。

ホールに利用者の方々が集まって来られ、子どもたちが立ち上がって挨拶をすると、とっても愛おしそうに見つめておられました。最初に5・6年生が「悲しきデブ猫ちゃん」という絵本の朗読をしました。利用者の方は静かに聞き入ってくださいました。全校生による歌と合奏「パフ」、歌「ビリーブ」も、笑顔で聞いていただき、終わりにはたくさんの拍手をくださいました。子どもたちから利用者の方々にたくさんの元気を贈ることができたと思います。子どもたちにとっても指導者の私たちにとっても意義ある交流となりました。



